

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	臨床実務	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	医療事務科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	山下 恵子	実務経験の有無・職種	有・看護師、救命救急士		
<b>学習目的</b>					
医療に関わる者として「病気の理解」は必要不可欠になる。「なぜ痛みがあるのだろうか?」、「何が原因なのか?」、「どんな治療があるのだろうか?」、「どんな薬をつかうのだろうか?」、「他の病気と関連はあるのか?」など、病気の診断や治療法を知ることが目的とする。					
<b>到達目標</b>					
様々な病気について、関連部位、原因、診断名、治療法、関連する薬を理解する。特に身体のしくみと、それに関連する病気、薬の作用について理解する。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	身体の構造・しくみ、病気についての説明、その病気に作用する薬の作用を説明する。				
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。				
評価方法	<b>種別</b>	<b>割合</b>	<b>備 考</b>		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	薬品に関する公定書と法律	公定書、関連法律を理解できる			
2回	薬の名称および種類	薬物の種類、医療品の分類、先発医薬品と後発医薬品			
3回	医薬品と処方	医薬品の貯蔵法と表示、医薬品取扱い上の必要事項、処方			
4回	薬物治療（1）	薬物の生体における作用、薬物動態、薬物法に影響を及ぼす要因			
5回	薬物治療（2）	薬物の投与経路、薬物の毒性			
6回	神経系の構造・生理および疾患	神経系の仕組みとはたらき、脳血管疾患、脳卒中、認知症			
7回	神経系に作用する薬物	麻酔薬、向精神病、睡眠薬、解熱・鎮痛薬			
8回	循環器系の構造・生理および疾患	循環器系のしくみとはたらき、本能性高血圧症、心筋梗塞			
9回	循環器系に作用する薬物	強心配糖体、冠拡張薬、血管拡張薬、降圧薬			
10回	呼吸器系の構造・生理および疾患	呼吸器系のしくみとはたらき、急性気管支炎、急性肺炎			
11回	呼吸器系に作用する薬物	気管支拡張薬、鎮咳薬、去痰薬			
12回	消化器系の構造・生理および薬物	消化器のしくみとはたらき、胃・十二指腸疾患の主な検査、胃癌、肝・胆道系疾患の主な検査、ウイルス性肝炎			
13回	消化器系に作用する薬物	健胃・消化薬、消化性潰瘍治療薬、下剤、止痢薬、利胆薬および胆石溶解薬			
14回	血液系の構造・生理および疾患	血液系のしくみとはたらき、血液疾患の主な検査、鉄欠乏性貧血、白血病			
15回	血液系に作用する薬物	造血薬、止血薬、抗血栓薬			